

| 日銀短観（2024年3月調査）*1

● 業況判断（DI）*2

前回（2023年12月）からの変化

全産業（9,030社）	12 % p	△ 1 % p	↓
不動産業（394社）	26 % p	1 % p	↔
大企業	52 % p	5 % p	↔
中堅企業	25 % p	2 % p	↔
中小企業	19 % p	2 % p	↔

全産業（全規模）の業況判断は、前回から1%p悪化の12%p。

不動産業（全規模）の業況判断は26%p。また、大企業は5%p改善の52%p、中堅企業は2%p改善の25%p、中小企業は2%p改善の19%pとなった。

● 先行き（3ヶ月後）

変化幅*3

全産業（9,030社）	9 % p	△ 3 % p	↓
不動産業（394社）	20 % p	△ 6 % p	↓
大企業	45 % p	△ 7 % p	↓
中堅企業	16 % p	△ 9 % p	↓
中小企業	14 % p	△ 5 % p	↓

不動産業の3ヶ月後の業況の先行きについては、大企業、中堅企業、中小企業いずれも今期比で悪化を見込んでいる。

● 業況判断の選択肢別社数構成比

	最近			先行き		
	大企業	中堅企業	中小企業	大企業	中堅企業	中小企業
製造業（DI・%p）	11	6	-1	10	5	0
1.良い	21%	22%	20%	16%	17%	17%
[構成比] 2.さほど良くない	69%	62%	59%	78%	71%	66%
3.悪い	10%	16%	21%	6%	12%	17%
非製造業（DI・%p）	34	20	13	27	15	8
1.良い	38%	29%	25%	30%	22%	20%
[構成比] 2.さほど良くない	58%	62%	63%	67%	71%	68%
3.悪い	4%	9%	12%	3%	7%	12%

● 土地投資（2024年度計画）

土地投資額 （全産業）	前年度比	修正率*4
	-19.5 % ↓	— %
[2023年度計画]	[-0.5 %]	

*1 回答期間は 2月27日～3月29日

*2 業況判断(DI)は、「良い」-「悪い」%ポイント。判断の分かれ目はゼロ%ポイント。

*3 先行きの変化幅は、今回調査の業況判断との対比

*4 修正率=(今回調査の母集団推計値-前回調査の母集団推計値)÷前回調査の母集団推計値×100

[日本銀行 短観](#)